

お知らせ

平成 23 年 4 月 27 日

市光工業株式会社

ICK1106

市光工業株式会社 事業拡大に伴いオートモーティブアフターマーケット部 カスタマーパーツセールス課の事務所を飯田橋に移転

大手自動車部品メーカーの市光工業株式会社（本社：神奈川県伊勢原市板戸、代表取締役社長：ORDOOBADI Ali、以下 市光工業）では、同社オートモーティブアフターマーケット部カスタマーパーツセールス課（以下 AAM 部 CPS 課）の事務所を、世田谷区池尻から文京区飯田橋に移転し、5 月 9 日（月）より新事務所で営業していくことを決定しました。

市光工業でアフターパーツを扱う AAM 部は、神奈川県伊勢原市に所在の本社にて運営されており、ワイパーや各種ランプ、ミラー等のディーラー用品を扱うアフターパーツセールス課と設計開発を行うアフターマーケット R&D 課があります。一方、CPS 課は、顧客が東京都内に分散しているため、同社の子会社であるピア株式会社（本社：世田谷区池尻、代表取締役社長：前川 眞一郎）の池尻本社内に事務所を設け、運営されてきました。このたび、CPS 課においては、事業拡大のため、飯田橋の新事務所（文京区水道 1-12-15 白鳥橋三笠ビル 7 階、電話：03-5805-1790）に営業拠点を移転することになりました。

AAM 部 CPS 課では、商用車向けに後方確認システム「SAFETY VISION」やランプ用「融雪ヒーター」等の特器を販売しており、ルームミラー型の「SAFETY VISION」は、国内トラック市場で 40%以上の市場シェア（同社調べ）を有しています。同社は、2 月より新たに販売を開始した業界初となるハイマウントランプ一体型の小型カメラで、さらに小型・軽トラック市場を開拓し、「SAFETY VISION」シリーズ全体の販売を、現在の 2 万セット/年から 2013 年度に 3 万セット/年に拡大することを目指します。

(参考)

<市光工業とは>

市光工業株式会社は、1903年に創業した、自動車用ランプ、ミラー、その他自動車部品の開発、設計、製造、販売を行う専門メーカーです。1932年には初代ダットサンにヘッドランプを装着し、日本初のプロジェクターヘッドランプや世界初の電動格納式ドアミラーを製品化、現在も次世代の超低消費電力 LED ヘッドランプなど独自の製品開発を行っており、トヨタや日産をはじめとする国内全ての自動車メーカー及び海外メーカー、アフターマーケット向けに製品を供給しています。市光グループは、国内にテクニカルセンターを含め10ヵ所の拠点、中国やマレーシア等アジアを中心に6つの海外拠点を有しており、総従業員数は4,704名(2010年9月末現在)です。国内において、自動車用ランプで約19%、ミラーで約15%の市場シェアを誇っています。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般の方からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL : 0463-96-1442

報道関係からの問い合わせ先

市光工業株式会社
広報担当 金子
TEL : 0463-96-1442

(株)VAインターナショナル
田中/亀有
TEL : 03-3499-0016
FAX : 03-3499-0017